

病棟ケアの場面でこんな悩みありませんか？

# RehaNus

リハと看護をつなげる勉強会

疾患によって血圧のコントロールが違うのはなんで？

この患者さんいつ病棟ADLがあがるの？

すぐに注意がそれて、食事介助に時間がすごくかかる

なんでリハさんはいつもすぐ起こしたがるの？

意識障害が長引くケースと長引かないケースの違いって？

これらの問題に



が大きく関与します。

脳を知ることで明日からの病棟ケアに脳の知識を活かす

## 看護師向け 脳卒中ケアセミナー

セミナーで得られる **3** つの特徴

- 1 脳を知る** 障害部位から患者さんの状態がイメージできる
- 2 脳画像が見れる** 担当患者さんの脳画像がみれるようになる
- 3 ケアが変わる** 脳卒中に特化したケアの工夫ができる

脳卒中患者さんの病態はそれぞれ違いがあり、また脳の障害もそれぞれ異なります。それは脳の各部位がそれぞれに機能を有しているからです。脳機能を理解することで、患者さんに起こりうる問題を紐解き、なぜそういった症状が起こるのかというケアに関わるポイントをお伝えしていきます。

当セミナーでは脳を知識から知ることに加えて、日々の臨床場面で遭遇する実際の患者さんの状態を理解することも重要視します。その時に必要になってくる脳画像の見方をお伝えすることで、そこから患者さんに必要なアセスメントができるコツをお伝えしていきます。

患者さんの脳を知ることで問題点の把握や症状理解をすることができ、個々の患者さんに応じたオーダーメイドの関りができるようになります。病棟ADL、その先の退院後の生活を作るためのケアの視点を高められ、ケアからキュアの視点をを持った関わりができるポイントをお伝えします。

### 過去のセミナー受講生の声

- 10年目看護師: 専門的な知識をわかりやすく噛み砕いて説明して頂いたので、とてもわかりやすかったです。
- 6年目看護師: 時間をかけて丁寧に教えてもらったので、明日からでも脳画像がみれるようになりそうです。
- 22年目看護師: 例えを用いてわかりやすく説明して頂き、脳の苦手意識がなくなりました。

### 講師のセミナーへの想い

私自身約10年間近く、脳卒中の方を臨床で関わってきましたが、その中で感じたのが、日ごろのケアや看護師さんの関わりの大事さでした。睡眠や食事量、リハビリをしたことの日常生活場面での反復など、看護師さんの関わりがあるからこそ、その治療効果が何倍にも膨れ上がったケースを大変多く経験します。だからこそ看護とリハビリの両方の視点から脳卒中患者さんに接することの重要性を、『脳画像』というものを一つのツールとして共有していきたいと思い、この勉強会を立ち上げました。



### セミナー詳細

病棟ケアに即活かせる 看護師向け脳卒中ケアセミナー  
 講師：脳外臨床研究会 RehaNus代表 中上 博之  
 会費：5,000円  
 時間：13:00~16:00 12:30受付開始  
 会場：オルソセミナー室（天下茶屋）



各セミナーは裏へ